

☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***2024. 1. 10**☆

60 歳からの人生を準備するための
【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

資産を形成するときの注意事項

発行者：牧野 F P 事務所合同会社代表社員 牧野寿和

牧野 F P 事務所公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

☆***☆***☆***☆***☆***☆***☆***通算第 578 号***☆

<目次>

- ◆ 今週のテーマ
- ◆ 今週のポイント
- ◆ 編集後記
- ◆ 「人生の添乗員 (R)」牧野寿和のプロフィール

:

- ◆ 今週のテーマ

資産を形成するときの注意事項

*:

住宅を購入することはできても、
希望の住宅が購入できるとは限りません。

購入後に何とかなると思い購入しても
何ともならないこともあります。

私たちが生活をしていく上では、
このようなことは数多くあります。

そこで今回は、
資産を形成するときの注意事項を
考察していきます。

お伝えする内容は次のとおりです。

- ・ 資産を形成するとは

- ・（事例 1）住宅ローンの返済額
- ・（事例 2）退職金の運用
- ・（事例 3）高齢者と新 NISA
- ・時間の無駄使いをしない

資産を形成するとは

資産を形成するには、

金融資産であれば銀行預金、
また株式や投資信託に投資して運用する
方法があります。

また、不動産であれば、
自宅を持つことが代表的な例でしょう。

しかし、例えば
勤め先の同じような給与の同僚が、
住宅を購入したからといって、

同額の住宅が購入できるとは限りません。

収入が同じでも、
自身の家計支出額を考慮した、
住宅を購入しなくては、
購入後の家計収支が成り立たなくなるからです。

従って、その時と将来の家計収支から、
自身の家計収支に適した支出額で、
資産を形成していくことが大切です。

具体的な例を 3 つ見ていきます。

（事例 1）住宅ローンの返済額

冒頭にもお話したように、

いくら住宅ローンが組めても、
毎月可能な返済額以内の住宅を
購入しないと、

せっかく購入したマイホームを
手放すことになりかねません。

また、住宅ローンの返済額は、
家計支出の大きな部分を占めます。

従って、家族全員が、
住宅ローンを返済するために、

- ・ 家族旅行に行けない
- ・ 子どもの教育費を貯めることができない
- ・ 老後の生活費も貯めれない

といったような、
家計の支出が制限されても
この住宅を購入したいのであれば、
問題ありません。

しかし、家族総意のない住宅を購入すると、
返済期間中、毎月返済額を確認することが
重荷になるでしょう。

（事例 2）退職金の運用

退職金は老後の生活費です。

従って、退職金で、
上記の住宅ローンの残債を返済する余裕は
ほとんどないと考えた方がいいでしょう。、

もし、退職金を住宅ローンの返済に使うなら、
しっかりシミュレーションをしてからでないと、
75 歳を過ぎてからでも、

家計が枯渇しかねません。

また、現役の時には時間がなかったなどの理由で、

株式や投資信託などの運用経験がなかった方が、
急に運用をして資産を増やそうとしても、
それは難しいです。

このような方が、
もし運用資金に退職金を使うのであれば、

老後の生活費ではなく、
子どもたちに相続を予定している金額、
または余剰資金で運用します。

そのためには、
主な収入が年金だけになるけど、
支出は現役時代とあまり変わらない、
老後の生活で、

自身の家計収支をどのように運営するのか、
事前に考えておくことです。

（事例 3）高齢者と新 NISA

前項の金融商品での運用に関連しますが、
本年（2024 年）から、
新 NISA がスタートしました。

新 NISA とは、金融庁の HP によると、

- ・ 非課税保有期間の無期限化
- ・ 口座開設期間の恒久化
- ・ つみたて投資枠と成長投資枠の併用が可能
- ・ 年間投資枠の拡大
（つみたて投資枠：年間 120 万円、
成長投資枠：年間 240 万円、

合計最大年間 360 万円まで投資が可能。)
・非課税保有限度額は、全体で 1,800 万円。
(成長投資枠は、1,200 万円。
また、枠の再利用が可能。)

と、なっています。

今まで投資をしたことのない方も
一度試してみようかと思うかもしれません。

20, 30 代の方は、
予算を決めて長期的投資して
運用するのもひとつの方法かもしれません。

しかし、高齢になってから始めるのは、
性格的に、値動きが常に気になる方や
運用資金に老後の生活費を使う方は、
止めた方がいいでしょう。

なぜなら、運用する金融商品は、
元本が保証されていないからです。

資産形成の注意事項

このように、資産を形成するには
さまざまな方法があります。

ただし、資産は形成してばかりではなく、
取崩したら使えるもので形成します。

金融資産は容易に取崩せますので、
運用の方法により、
いかに資産を増やすかがポイントです。

また、不動産は今売却したら、
いくらで売れるかがポイントです。

購入価格より高くなっているのが基本です。

そこまでしなくてもと思う方が、
資産を形成するには、

金融資産は銀行の定期預金で、
不動産資産は、
十分返済可能な住宅を購入するか、
生涯、賃貸住宅で生活するのも
ひとつの方法です。

::*:*:*:*:*:*:*:*:*

◆ 今週のポイント

::*:*:*:*:*:*:*:*:*

資産は形成は、

自身の家計で適した方法で

実行するか、

止めることです

ここに必要以上に

時間をかけることは

無駄です！

::*:*:*:*:*:*:*:*:*

◆ 編集後記

::*:*:*:*:*:*:*:**

資産とは、

自身の持っている資産です！

でも、いいのかも！？

:

◆「人生の添乗員（R）」牧野寿和のプロフィール

:

日本で唯一「人生の添乗員（R）」を名乗れる
公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー
創業 20 年目
1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）
以外は、名古屋で居住。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。
業務で世界各地を廻っていた時、
日本の方と他国の方々の
お金との付き合い方の違いを感じていた。
そんな時渡米した折に、
初めてファイナンシャルプランナーの
存在を知り、
日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。
2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。
これまでに、
延べ 1100 件以上の様々な相談に対応。

相談者へのプランニングの助言と提案を
主な業務とし、
相談者に、安心できる生活が送れるように、
丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

- ・ NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）
協会 CFP（R）認定者
- ・ 1 級ファイナンシャル・プランニング技能士
（資産設計提案業務）
- ・ 福祉住環境コーディネーター
- ・ 総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ〜テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<執筆>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談は、名古屋市内はもとより愛知、岐阜、
三重県、首都圏や関西にもリモートで
お会いする機会が増えました。

「人生の添乗員（R）」は、
他人を気にすることなく、相談者ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

◆ 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

◆登録・解除は、ご自身でお願いいたします
こちらから出来ます

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

◆本メルマガに関するご意見・お問い合わせは
こちらまでお願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野FP事務所合同会社

公式サイト : <https://www.makino-fp.com>

◆記事内容に関してのトラブル等について当方では
一切責任を負いかねます

ご自身の責任でご判断下さい

「人生の添乗員」「人生の行程表」は、
牧野寿和の登録商標です
